



秋田市新屋ガラス工房(新屋表町)



○新屋まちづくり拠点施設整備事業▶4億3,643万円
ものづくりの振興と地域交流の拠点として7月に開館します。ガラス作品づくりを体験できる工房のほか、ギャラリーやショップなどを併設します



○土崎まちづくり拠点施設整備事業▶4億9,025万円
曳山や被爆倉庫の展示を中心に、みなとの歴史の伝承と地域交流の拠点を整備します。開館は平成30年3月の予定です

つもに生きる 人・まち・くらし

将来都市像

4.5ページで紹介した成長戦略のほかにも、「新・県都『あきた』成長プラン」で掲げた次の5つの将来都市像に沿って事業を行っています。そのおもなものを紹介します。

- ①豊かで活力に満ちたまち
- ②緑あふれる環境を備えた快適なまち
- ③健康で安全安心に暮らせるまち
- ④家族と地域が支えあう元気なまち
- ⑤人と文化をはぐくむ誇れるまち

「○」＝新規事業 「○」＝継続事業
*金額は千円以下四捨五入。

- 鳥インフルエンザ対策…大森山動物園における防鳥ネットの設置や隔離飼養施設の整備など
- 土崎港曳山行事ユネスコ無形文化遺産登録記念事業…(仮称)土崎港曳山行事伝統伝承会が実施する各種事業に支援▶800万円
- ▼4千923万円

- 首都圏からの移住を促進…首都圏での移住相談体制を強化し、きめ細かな移住相談対応などを通じて移住を促進▶651万円
- 山王官庁の緑地整備…市役所新庁舎が災害拠点として十分に役割を果たせるよう、隣接する山王官公庁緑地のバリアフリー化などを実施▶4千200万円
- 緊急告知ラジオの導入…災害想定区域内にある福祉施設などへ、災害情報を受信できるラジオなどを貸与▶796万円
- 救急隊の増隊
- ▼5千615万円
- 介護予防・生活支援サービス事業▶4億2千541万円
- 介護予防ケアマネジメント事業
- ▼9千274万円
- 第44回東北総合体育大会の秋田市開催…8月を主会期として14競技を開催▶583万円
- 学校給食費公費計化…学校給食費を市の公金として管理する(公会計)方式を導入▶13億4千605万円
- 中小企業融資あつせん事業
- ▼2億5千209万円
- きずなでホットしていあきた寄附金推進事業▶1億1千192万円
- 地域おこし協力隊の活用…4月から2人を採用。秋田市での暮らしの良さや魅力を情報発信し、移住・定住の流れを生み出します。次回広報あきた4月21日号で紹介！▶1千36万円



- 友好・姉妹都市交流推進事業…秋田市と姉妹都市の青少年が参加する青少年会議の開催など▶2千498万円
- ごみ集積所設置費補助▶1千117万円
- 住宅リフォーム支援(中心市街地活性化基本計画区域内では10万円を補助)▶1億2千545万円
- 老朽化した高梨台市営住宅の建て替え…平成30年3月完成予定。
- ▼4億4千63万円
- 自殺対策事業▶887万円
- 感染症予防対策の充実
- ▼2千876万円
- 消防力の強化▶2億3千676万円
- 介護保険事業▶290億1千892万円
- 障がい者福祉医療費給付事業
- ▼15億3千525万円
- (仮称)南部市民サービスセンター牛島別館の建設…平成30年度開設予定▶7億771万円
- (仮称)飯島南地区コミュニティセンターの建設…平成30年度開設予定▶2億7千739万円
- 秋田商業高校のサッカーグラウンドを人工芝に改修
- ▼1億7千800万円





平成29・30年度版

市民便利帳を9月に発行

「平成29・30年度版 秋田市民便利帳」は、市と(株)サイネックスが共同発行し、9月中に全戸配布予定です。今回から2年に1度の発行です。



市民便利帳の発行や配布にかかる経費は、すべて(株)サイネックスが募集する広告収入でまかさないます。

問 便利帳の発行▶広報広聴課☎(888)5471
広告掲載▶(株)サイネックス☎(833)6700

rukube 健康づくり
kita “歩くべ!あきた!”

仲間と楽しくウォーキング♪



上がシニア部門の修了式(1月31日)、
下が就業者部門の表彰式(3月17日)

仲間とチームを組み、歩数を数えて健康になろうという取り組み、「歩くべ!あきた!」の平成28年度の修了式と表彰式を行いました。

昨年9月からのスタートに、シニア(65歳以上)部門29チーム79人、就業者部門71チーム279人が参加し、ほとんどのチームが開始前よりも計測期間内の1日の平均歩数が増えました。仲間と楽しみながら運動することで、自然と効果が出るんですね♪ちなみに、就業者部門で優勝したチーム「ロコモット☆」の平均歩数は1万3千809歩でした。

平成29年度は7月から参加者を募集する予定です。詳しくは、改めて広報あきたでお知らせします。

保健予防課☎(883)1178



連携協定に署名する、公益社団法人秋田青年会議所の丸野内真理子理事長(右)

青年会議所と連携協定を締結 & 市内企業とイクボス合同宣言 子どもを生き育てやすい環境づくりを進めます!

市では、昨年11月に市長が行った、「子育て応援リーダー宣言」秋田市版イクボス宣言」を契機として、3月10日に、公益社団法人秋田青年会議所と「イクボス合同宣言」連携協定を締結し、その普及・啓発を積極的に行っていくことを確認したほか、市立秋田総合病院、秋田公立美術大学を含む、市内企業23社が一緒になって「イクボス合同宣言」を行いました。

子どもは「未来への希望」「社会の宝」です。市では引き続き、これら団体・企業のみならずとも、子どもを生き育てやすい環境づくりを進めていきます。

子ども総務課☎(888)5687

国際教養大の学生が開発 秋田産の食材を使ったスイーツを召し上げ

国際教養大学の学生が秋田産の食材を使い、「国際性」に富んだ発想で新しいスイーツを開発しました。

商品は、「枝豆とりんごの2つの味が楽しめる「青豆のセパレートスムージー」、県産枝豆のペーストやフリーズドライを使った枝豆の風味が香る「青豆タルト」、スペイン発祥の「オルチャータ」という飲み物を県産甘酒を使って秋田風にアレンジした「こまちオレ」あきたオルチャータ」の3品です。

スムージーは県内イベント(移動販売車)で、タルトは旭南高砂堂本店・本荘店・秋田西武売店で、オルチャータは、エリアなかいち1階「カフェGRASSINI」でそれぞれ販売しています。ぜひ召し上げられ!

産業企画課☎(888)5725



右から、オルチャータ、タルト、スムージー

3月18日の発売イベントで、売り上げ好調でした♪